

# 子育て支援者養成講座

特定非営利活動法人 ファミリ - ステーション Rin

〒470-0104 愛知県日進市岩藤町陸見 63

## 助成事業の概要

子育て世帯の多い日進市の中で、子育て家庭の現状を理解した上で、地域の子育て家庭を「見守り、寄り添い、支える活動をしていただく人材育成」のために、子育て支援者養成講座を開催した。

(詳細は、別紙報告書参照)

### 1. 子育て支援者養成講座

【基礎講座】 2022 年 5 月～ 7 月開催：全 8 講座 (9 科目)

【専門講座】 [1] 訪問支援者養成講座 2022 年 8 月～ 9 月開催：全 8 講座

[2] 支援センタースタッフ向け専門講座 2022 年 10 月～ 11 月：全 2 講座

【小児幼児救命講習】 3 回開催

### 2. 子育て講演会

「小児科医が伝える受診の目安とホームケア～コロナ禍で正確な情報を掴むためにできること～」  
講師：坂本昌彦氏 (佐久医療センター小児科医長)

## 事業の成果

●地域の子育て支援者を育てるにあたり、現在の子育て世代の状況や社会的背景を理解し、支援者としての関わりを多方面から学んだ。講師は、小児科医、市の保健師、栄養士、助産師など、日進市の子育て家庭に関わりのある方を招き実施した。

●基礎講座は、子どもに関する基礎知識と保育原理や子育て家庭の現状を正しく理解することを目的に開催した。ご自身の子育て経験とは社会自体

や育児方法が変わっていることも認識し、母子を理解するための基礎知識を学んだ。

●専門講座では、ロールプレイングや実習、先輩支援者の経験談などを取り入れ、家庭を訪問して育児や家事を支援するための実践的な専門スキルを学んだ。

●「子育て講演会」は、長野県佐久市小児科医であり「教えてドクタープロジェクト」リーダーの坂本氏による、SNS やインターネット等の情報氾濫する現代社会の中での正しい情報収集とホームケアの留意点を学んだ。講師の事情で、急遽オンラインでの開催となったが、スムーズに実施することが出来た。

●毎年継続開催する成果として、昨年度の欠席した科目を今年度受講し、修了証を得て支援者となり活動を始めた人がいる。

●一次的な成果としては、講座参加者 63 名、修了者 13 名、講座参加者のうち新しく子育て支援事業に携わり活動を始めた方が 9 名と、講座開催の成果は高かった。しかし、利用者も増加していることから更なる継続的な講座開催が必要と考えている。

●二次的な成果としては、子育て支援事業に携わり、孤立した子育て家庭への SOS に応えられる人材が増えたことで、子育て家庭が安心して子育てできる環境を整えることができた。

また、実際に支援を受けた方の中には、いつかは支援する側に回ろうと思うという声もある。すぐに支援者となれなくとも、この講座を通して子育ての理解者を増やすことは、地域の中で子育て家庭を見守る人が増え子育てしやすい温かい

地域づくりの輪が広がったと考えられる。

さらに横展開し、近隣市町へも働きかけより多くの理解者や支援者を増やしていきたい。

## ■ 成果の広報・公表

今年度開催状況や、実施の報告は、当法人のニュースレターを7月と1月に発行し、養成・研修事業報告として掲載し、基礎講座、専門講座の報告をした。当法人の会員、協力者、関係団体などに郵送し理解を得た。

更に、年度末にあたり、今回の全講座の実施報告書リーフレットを作成して、当法人の会員や協力者、関係団体、行政、関係施設、社会福祉協議会をはじめ支援窓口や機関にも報告した。

今年度、貴団体の助成を受け、多くの受講者を得て地域の支援者養成講座を開催できた実績を今後につなげていきたい。

## ■ 今後の展開

当講座は継続的に開催しており、欠席科目は翌年受講し修了することができるが、他に就労中で受講意欲はあるが日程が合わず参加できない方がいる。そのような方に向けて今後はオンライン受講やアーカイブ受講も検討していきたい。

幼児小児救命講習は、定期的に受講を重ね緊急時の対応スキルを維持していきたい。

また、スキルアップ研修と交流会を設け、支援の有無にかかわらず、継続的な学びと地域の現状理解を深め今後もつながっていくための場としたい。

当市は子育て家庭がまだまだ増え続けている。また、支援者側も就労や介護、子育てしながらの活動を続けている現状から、地域の子育て支援者はまだまだ不足している。

今後も支援者を育成し、地域の理解者や子育ての輪をつなげていくため「子育て支援者養成講座」を継続していくことは、必須課題と考えている。